

令和5年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和 6年 3月 31日

学) 東京キッズ学園 調布白菊幼稚園

1. 本園の教育方針

「やさしい心の元気な子」

教育目標

- ・挨拶と返事のできる明るい子
- ・強い身体にやさしい心
- ・人に親切、仲良く助け合う気持ち
- ・よく考え、進んで学ぶ
- ・規律正しい団体生活

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

「子ども達が安心・安全に幼稚園生活を過ごせる環境を目指す。」

3. 評価項目の取り組み状況

| 評価項目 | 取り組み状況 |
|------------------------|--|
| 子どもの安全への意識を高める | <p>○子ども達が自ら気付いた事を先生に話すようになり、危険回避の意識が高まった。</p> <p>○静止した方が良いと判断した子どもの行動に対して、事前に「〇〇をすると〇〇になってしまうよ」等と想像できるような言葉かけをした。結果、怪我等を事前に防止できる行動に変わった様子が見られた。</p> <p>○初めて遊ぶ遊具に関して、「こんな風に遊ぶと安全だね」とその遊具が実際にある所で伝え、イメージしやすいように手本を示した。</p> <p>○避難訓練時に「なぜダンゴムシポーズをするのか」「なぜ走ってはいけないのか」「なぜ話してはいけないのか」など行動の意味を伝えることで、子ども達自身でも身を守れるように行った。</p> |
| 教職員の安全対応力を強化し、共通理解を深める | <p>○ヒヤリとした場所や怪我をした場所を共有し、改善できる箇所は改善した。注意して見守る意識が強くなった。</p> <p>○バス乗車では、乗車した人数と降車した人数の確認を行い合致してから保育室へ移動することを徹底した。場面毎に名簿を作成し、名簿とその場にいる人数を常に確認することで、人数確認の徹底が習慣づいている。</p> <p>○アプリ連絡や電話連絡がない保護者へ出欠状況を必ず確認し、不明なままにすることなく保育を行った。結果、幼稚園全体で子ども達の所在確認を徹底する意識が高まった。</p> <p>○幼稚園バスの最後列にエンジン停止後に鳴るブザーを設置し、毎回バス内点検後に停止ボタンを押すようにしたことで、運転手も降ろし忘れ防止の意識が高まった。</p> <p>○研修では 外部講師を招き、不適切保育と解決策を学んだ。こどもへの声掛けや虐待、子どもの動きを促すときのポイントや止め方について具体例を教わり、実施したことにより子ども達が安心して、安全に過ごせるような環境作りができた。</p> |

| | |
|-------------------|--|
| 防犯意識の強化 | <p>○調布警察と連携し、防犯に対する意識と対応を学び、子ども達を守るための技術を教わった。警察官に指導を受けたことでより一層、防犯への意識が高まった。</p> <p>○冬は上着等でIDカードが隠れてしまい、未装着に見えることがあった。見えるように装着してもらえよう言葉かけを行い、職員・保護者共に意識できるようにした。</p> |
| 子どもが安心して登園できる環境構成 | <p>○行き渋りをしている子どもを事前に共有しておくことで、その園児が登園してきた際に、すぐに担任に知らせる対応ができた。また担任の先生もすぐに対応することができていた。</p> <p>○満3歳では、幼稚園での活動や行事に参加する機会を増やすことで、年少に進級した際の不安を取り除けるような言葉かけや援助を行った。</p> <p>○幼稚園が安心して楽しい場所であり続けるために、より一層子ども達の気持ちに寄り添った。</p> <p>○保護者とこまめに連絡を取り、子どもの様子や性格などの話を聞くことで、子どもの性格の理解が深まり、よりその子に合った接し方ができるようになった。</p> |

4. 今後取り組む課題

- 通常保育時間での避難訓練は行っているが、預かり保育時間内や保護者引取り訓練などを実施の検討をし、より一層訓練を強化し、災害への対応力を上げていく。
- 石川県能登半島地震を教訓に、被災した時に何が必要だったかの情報を集め、幼稚園にある防災用品に追加・見直しを行っていく。
- 以前からある遊具の使い方・ルールはあるが、新しい遊具の使い方・ルールを職員全体で把握していく。
- 地震時や避難訓練時の放送の音が聞こえづらい時があるので、音量の調整を行っていく。
- 満3歳児の給食は食材の形状を小さくするなど、喉に詰まらせないようにしているが、給食室とも情報の共有を行い、年齢に合った形状での給食提供を引き続き継続していく。
- エピペンや座薬や熱性けいれんの定期的な研修を行うなど、技術強化をしていく。
- 防犯上、幼稚園入口の回転扉は重くなっているため、子どもみでの開閉は行わないように徹底周知を行っていく。また、夕方以降は課外教室や小学生の利用も多くなるため、教室の先生や警備員にも使い方について周知・徹底していく。全員で子どもの安全のために動いていく。
- 業者への入館証の着用を再度徹底し、誰が見ても不審者ではないということが認識できるようにしていく。
- 防犯訓練の満3歳の参加については、恐怖心を与えないように参加を見合わせていたが、2学期頃から参加し、防犯への意識を高めていく。

5. 学校関係者 評価結果

| 評価内容 |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・子どもに「どうしてこうしたら良いのか」理由を説明してくれます。子ども目線の保育をしてくれています。 ・避難訓練のおかげで日常生活でも机の下に隠れる等、身を守る習慣がついた。家でも出来る事に凄く感心しました。子ども達が自ら危険を回避する意識について、担任の先生以外にも言葉で助けを求められるようになってくれたら嬉しいと思いました。 ・子供への伝え方を工夫していてうちでも真似したいと思った。 ・クラス代表として行事に参加させていただき、移動するごとに、先生が子供の人数を数えていました。 ・先生方の安全への意識が高まってくれることが保護者の安心につながるのありがたいと思った |

評価内容

- IDカードの着用徹底など防犯の意識高く取り組んでいただいています。
- バス利用で回転扉を使う機会は少ないですが、利用するときは居合わせた方と声かけがお互い出来ていて保護者の方も防犯意識が高いことも感心しました。
- 休んだ際や心配ごとがある際にこまめに連絡をくれるので、子どもを安心して預ける事が出来た。
- 交通安全の講習をして頂けると助かります。
- 教職員の方が共有している名簿に関して名前だけでなく顔写真などもついているのか気になります。バスに乗せる際はいつも名前を呼んでくれますがイマイチ合っているのか聞き取れない方もいらっしゃるのでは名前と顔の一致していた方が安心出来ると思っています。
- ハロウィンでもらう飴は喉に詰まりそうで怖いので、ラムネやソフトキャンディにしてもらえると安心できます。
- 表現が上手く出来ない小さな子供の思いを理解して居場所を作ってくれる先生に、子どもを安心して預ける事が出来ました。